



## ○ KOKUGO

林講師の「国語 I」の授業にお邪魔しました。この日は山口大学の留学生クリスティーナさんも一緒でした。学生証のお名前を拝見すると、**TUCHER CHRISTINA**(トゥーハー クリスティーナ)と記されていました。ドイツの方です。日本の学校では外国語の授業があり、ALT さんもたくさん来日され、日本国中すべての子どもたちが学んでいますが、その多くは **ENGLISH** ですね。このたびはドイツ語の発音を聞くことができるというわくわくな気持ちで教室に行きました。



するとよく医院でつかわれる「カルテ」が出てきました。「アルバイト」もそうです。「イデオロギー」が出てきたときには、かつての旧東西ドイツの話もありました。ベルリンの壁が壊されたとき、今の学生たちは生まれていたかな?ということも思いました。それにしても今私たちが日本語として遣っていることばの中にドイツ語はたくさんあるんですね。維新前後に外国で学んでいた先人たちの苦労は私たちには想像もできないくらいだろうと思います。そういった強い意思のある人たちのおかげで今の日本ができているのだということも、この時あらためて思いました。

さて、国語の授業に入ります。漢字の歴史、中国・韓国・日本とのつながりなどの話題もあり、いろいろな国の母国語の変遷についての話題もありました。年齢を重ねてきた私にとっては興味深い内容ばかりなので一つひとつの話題がおもしろかったですね。

「KOCHO だより⑤」で少し紹介しましたが、私はかつて中学校2年生の国語を担当していたことがあります。そのときは、中学生たちに「ことばのおもしろさ」「漢字の成り立ちのおもしろさ」などを伝えようと試行錯誤していましたが、今日の授業はまさにそのときの内容と重なっていました。ちょっとクイズで紹介してみます。 ※正解は下段にあります。

- ① 次の中で、漢字の本家である中国の人が知らない（日本で作られた）漢字「国字」はどれでしょう？ 水 国 峠 道 辻 榎 杉 上 下
- ② 「莫」は「無い」という意味があるそうです。「募集」の「募」はどんな“なりたち”の漢字でしょう？

おそらく、学生たちも中学校時代には同じような内容を学んできていると思いますが、その時のことを思い出せた人たちは、学びが繋がっておもしろかったのではないかと想像します。

授業中ときどき、学生たちから授業内容に関係するつぶやきが発せられます。その一つひとつに詳しく対応していたら時間がいくらあっても足りないだろうなとも思いますが、私は突っ込んでみたいなど何回も思っていました。そう思っていたときにある学生からナイスな突っ込みがありました。

「寝」という漢字は右図のようななりたちでできているそうです。しかし、学生の突っ込みは「寝ていない。」というものでした。授業では時間の関係から簡単に解説して次に進んでいきましたが、実は保育士をめざす人にとって大切な内容が隠されていると私は思ったのです。 この内容は次号に続きます。

